

(株)えふえむ草津 第19回放送番組審議会議事録

I 日時 平成24年11月29日(木) 18時～19時30分

II 場所 草津夢本陣(えふえむ草津 本社横)

III 出席状況 委員総数 5名
出席委員 4名

出席委員(敬称略) 我孫子 卓哉
長 源一
日下 晃郎
鶴田 眞理子

当社出席者 代表取締役 野添 勝
放送局長 勇 竹廣

IV 議事および審議の概要

(1) 野添代表取締役より挨拶および近況報告

お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。よろしくご審議のほどお願いします。

前回からの活動について、

- ・10月11日にパーソナリティのオーディションを実施したが、応募者が少なかった事もあり採用者はなかった。次回オーディションは来年の4月の予定。
- ・インターネットラジオ(サイマル放送)について9月、10月に調査を行い、必要な機器類の選定や方向付けを終えた。この中で、インターネットラジオには現在の第一興商からのCS配信音楽番組は流せないことが判明したので、自社制作番組の大幅な拡大をしなければならないこととなった。インターネットラジオは来年4月開始を目標に今後準備を進めて行きたい。
- ・広告付きタイムテーブルを制作するために広告主を募集した。

当初8社の予定をしていたが、営業努力の結果、金融機関をはじめ10社の広告主が決まった。発行部数は5,000部を予定しており、来年1月からの週間番組を掲載したタイムテーブルを年内には発行して、広告主をはじめ官公庁、商業施設などに広く配布し、えふえむ草津の番組をより知ってもらおうと共に、リスナーの増加、聴取率のアップ、CMの獲得に繋げて行きたい。

- ・今年度も9月で上半期が終わったので、この間の業績を集計した結果、6月の株主総会でお約束した売上、利益については大方予定通りに進んでおり、現時点の予測では、今年度、何とか黒字を確保できそうな見通しである。
ただ、景気の回復も見込めない現状から今後も厳しいものがあり、審議委員の皆さまにスポンサーなどを御紹介いただければ有難い。
また、今後より組織面、営業面、番組作りの充実を図り売上アップに繋げて行きたい。

(2) 番組の審議

11月29日（木）の“ネタあさ 785”の前半30分間の録音を聴いていただいた後、番組の審議に入った。

（パーソナリティー 南 アシスタント 青木 ディレクター 山元）

委員より次の質問や意見があった。

- ①「マイウオッチくさつ」のコーナーでゲストを迎えていたが？
- ②今回このゲストを迎えるのに事前の打ち合わせはしたのか？
同じ事を何度も紹介しているので、事前の打ち合わせをしてないのではないか？
- ③同じ事を何度も聞いたり話して貰ったりしている。しっかりと打ち合わせをしてシナリオを作らないといけないのではないか。
- ④多人数に話して貰ってるから、インタビューの時間がだらだら長く感じる。
3名程度にだけ話してもらえばコンパクトにまとまり、長く感じないと思う。
- ⑤パーソナリティーとアシスタントの組み合わせはどうして決めているのか。
この二人では少し話し方のテンポやテンションも違うように感じるが？
- ⑥メールの受け付けをしているが、どの程度あるのか？
番組内容の良否でメールの数が違うのではないか？
- ⑦次回は一番メールが多く来る番組を聴かせてほしい。

これらの質問に対してえふえむ草津から

- ①本来は、パーソナリティーから観た草津を紹介するコーナーであるが、時には行事やイベントを紹介したりイベントに関するゲストを迎えることもしている。
- ②ゲストを迎えるにあたっては、基本的には事前に打ち合わせをすることが基本であるが、ゲストの熟練度や内容、人数によっては簡単な打ち合わせのみで済ませている事もある。今回のゲストは演劇をやられている方でもあり人数も多いので、分担して何を話していただくか程度の打ち合わせだろうと思える。
- ③未確認だが、今回のゲストは演劇をされている方であるので話すことには慣れておられる事と、また人数も多いので、シナリオは書かなかったのではないかと思

える。

④ 2時間番組内のゲストコーナーであり、収録と違って時間の制約も緩やかなうえに人数も多いので長くなったと思う。

⑤局が一方向的に決めています。

パーソナリィティーは活発で元気な人で、しかもハイテンションで進行しているが、アシスタントは、まだ慣れていないので十分に声が出ていなくて、テンションも低いのかもしれません。

⑥メール数は、番組により大きく違う。2～3通の番組もあれば、人気のある番組は、前日からの分も含めて30～50通程度ある。

⑦わかりました。次回に審議いただくように準備します。

(3) 前回開催の番組審議会での改善意見、質問に対する措置事項別紙により説明

(4) 訂正または取消し放送の実施状況

前回審議会（平成24年9月27日）から本日まで、訂正または取消し放送はなし。

(5) その他

- ・インターネットラジオ（サイマル放送）とはについて説明。
また今後の具体的な進め方、スケジュールについて説明。
- ・他社制作の番組を1月から放送予定です。番組内容などについて説明。
- ・9月から立命館大学放送局RBC制作の番組の放送についても、協議を進めており12月3日から放送開始の予定です。
- ・また、立命館大学社会学部の教授とそのゼミ生が制作する番組の放送についても、現在話を進めています。
- ・当社と他社制作以外の1日15～16時間帯は、サイマル放送に向けて、全て自社で音楽番組を制作して放送する予定です。

V 議事録の公表方法

- ・当社玄関カウンターに備置（12月14日から）
- ・当社ホームページに掲載（12月17日から）
- ・番組「番組審議会の内容」を放送（12月14日（金） 19時から）

VI 次回の開催予定

- ・平成25年1月30日（水）18時から の予定

(別紙 第19回審)

前回開催の番組審議会での改善意見、質問に対する措置事項

9月27日(月)の“イブロケ 785”の録音を聴いていただいた後、番組の審議をいただいたものです。

委員よりの質問や意見

- ①パーソナリティーの英語の発音がすごく美しかったのでもっと英語を活かした番組構成を考えたらと思う。英語を全面的に押し出して、外国人向けのコーナーなど、もっと彼女しかできない番組にすれば良いのではと思う。
また、洋楽を良く知っておられるようなので、邦楽はかけずに、この番組は洋楽だけにするのも特徴になるのでは。
- ②パーソナリティーのトーク内容に細かく注意することはあまり必要ないのではないか？
- ③お喋りやテンポは上手なので、もう少し明るさが表に出ればさらに良くなるのではと思う。
- ④意思疎通のためパーソナリティーとは出来るだけ話すことを心掛けてほしい。
- ⑤この番組ではないが、朝はお天気が最初にあり、その後朝の番組のオープニングが始まる。天気予報が番組の外にあり、何となく不自然に思える。番組内に移動してはどうか。
- ⑥メールテーマの話題をトーク1にすべき。メールテーマは出来るだけ早く言った方が良くと思う。
- ⑦スタッフの話題を言うのは否でないと思うので、スタッフと中途半端な表現でなく名前やニックネームも言えどどうか？ 内輪話しにならない程度に名前を出すことによって、スタッフを含めた番組になる。またスタジオの模様や雰囲気がラジオから見えるようになるのではと思う。

えふえむ草津からの回答

- ①番組を担当した当初からみると少しずつ英語を使ってる時間は増えているが、さらに活かせるよう相談します。洋楽が大変好きで良く知っているので、そのことさらに生かすことも考えてみます。
- ②番組エンディング後にディレクターと簡単な反省会を行っていて、トーク内容などについて意見交換をしている。また、トーク内容などで特に気になった事があれば反省会以外でも意見交換するよう心掛けている。
- ③日頃は随分明るい性格で笑顔一杯の方なのですが、本番ではどうしても緊張で少し硬くなってしまうようです。

- ④パーソナリティーは基本2週間に1回しか来社しないので難しい事もあるが、出来る限り意思疎通を図るように努めます。
- ⑤夕方の天気は番組途中の6時はじめです。朝についても考えてみます。
- ⑥出来るだけ早く言うように心がけます。
- ⑦名前を出すか出さないかは、内容や節度によると思います。
身近なコミュニティ放送としては節度を持ちながら名前を出すべきだと考えています。

- ⑤の天気予報について、その後調査確認したところ、
気象台の発表が11時までの生放送で使える情報は、早朝発表の5時発表しかないため、出来る限り早い時間帯で伝えたいとの思いから、オープニング前に放送している。